

ガラスの魔力・ガラスの魅力 — 華麗なるアール・ヌーヴォー、アール・デコの世界 —

1890年から1910年にかけて、西欧諸国では植物的モチーフによる曲線を多用した芸術様式が一世を風靡しました。アール・ヌーヴォー「新芸術」の意をもつこの芸術運動は装飾美術、建築を中心に絵画彫刻そして生活風俗までのあらゆる方向に展開しました。

その中心的な芸術表現のひとつに、フランス東部ロレーヌ地方の古都ナンシーを中心としたガラス工芸があります。豊かな創造性と芸術性を持つエミール・ガレとドーム兄弟は、自然をモチーフに万国博覧会を舞台に発展し続け、ナンシーを装飾芸術における一大拠点としました。

いっぽう、パリの装飾デザイナーから、アール・ヌーヴォー期を経てアール・

デコを代表する芸術家のひとりとなったルネ・ラリックもまたガラス工芸の芸術表現に大きな役割を果たしています。

第一次世界大戦後のあらゆる価値観の変貌する中、直線的でモダンな装飾が嗜好されるようになり、この時代の変化にいち早く応えたラリックは機械化、工業化の波に乗って、現代的な感覚の作品を次々と発表していききました。

本展では、国内外から集めたガレ、ドーム、ラリックというフランスを代表するガラス芸術の三代巨匠の一流作品約130点を一堂に会し、贅沢な美の競演を演じます。



エミール・ガレ／蘭文花器



エミール・ガレ／風景文ランプ

G A L L É
D A U M
L A L I Q U E



ルネ・ラリック／ベッドサイドランプ「アムール」



ドーム／ななかまど



ドーム／春草文花器



ルネ・ラリック／カーマスコット「勝利の女神」

同時開催◎「小野忠弘の表現」

次回企画展◎「海を越えてきたみほとけたち」 平成20年2月29日(金)～3月23日(日)

海を越えて福井にもたらされた仏画、経典、墨蹟、仏教工芸を展示し、仏の美と文化交流の一端を紹介します。



交通のご案内

- コミュニティバスすまいる/福井駅前(西口)のりばより、田原・文京方面線約10分「県立美術館」下車。
- 京福バス/JR福井駅前(西口)10番のりばより、福井病院・藤島線(26系統)約10分「藤島高校前」下車(※土日祝は運休)。
- 車/福井駅前より約8分、北陸自動車道福井北ICより約15分。
- 福井鉄道・えちぜん鉄道/「田原町駅」下車徒歩8分。

※ご来館の際は、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。お車の際はアイドリングストップにご協力下さい。

福井県立美術館

〒910-0017 福井市文京3-16-1 TEL : 0776-25-0452 FAX : 0776-25-0459
http://info.pref.fukui.jp/bunka/bijutukan/bunka1.html